

令和6年度第3回 下関市環境審議会 議事録

日 時：令和6年6月18日（火）15:00～16:10

場 所：下関市リサイクルプラザ啓発棟3階 第2研修室

出席者：委員10名（欠席7名）、参考人（事業者）6名、

事務局7名

1 開 会

資料確認の後、本審議会が原則公開であること、傍聴要領の遵守及び議事録作成について説明を行った。

2 議 事

（1）（仮称）新白滝山風力発電事業環境影響評価方法書について

ア 事務局説明

本日の審議会の流れ及び第2回環境審議会での資料1の取扱いに関する経緯の説明を事務局が行った。

イ 事業者説明

資料1より、第2回環境審議会資料1についての審議会委員意見及び事業者見解について事務局が説明を行った。

ウ 事務局説明

資料2より答申（案）について事務局が説明を行った。

【主な質疑等】

（1）（仮称）新白滝山風力発電事業環境影響評価方法書について

ウ 答申（案）

	発言内容
A 委員	個別的事項（3）水質について、アの2行目後半「上流域にも適切な地点で調査を行うとともに」は、たぶん日本語として正しくなくて、「上流域でも」にするか、「上流域にも適切な地点を設け、調査を行うとともに」にするか、そういう修正が必要ではないでしょうか。
荒井会長	ご指摘ありがとうございます。日本語の言い回しですね。正確な

	表現に修正するという事で、事務局お願いいたします。
事務局	ありがとうございます。いただいた意見のどちらかを採用させていただこうと思います。
荒井会長	他になにかございませんでしょうか。
事務局	事務局が先ほど説明した時にお伝えすればよかったです。答申案を作らせていただく際、基本は審議会で委員の皆さんの発言及び意見票の内容を基本にして作成させてもらっていますが、個別的事項（１）大気質の部分ですが、「また、」以降の３行目になります「乾燥等により土砂等が飛散しないように適切な処置を検討すること」とありますが、ここは「土砂等」がいいのか、乾燥なので粉じん系がいいのか、担当としてここを作成しながら思っていたのですが、委員の皆さんからご意見をいただくと非常に助かります。
荒井会長	なんとなく感覚的には分かるけど、正確な表現がどうかということですね。いかがでしょうか、私も専門外なのであれですけど、大気質のご専門の委員の方がもし、普通こういう言い方をしない、あるいは普通こういう言い方をするというのであればご意見いただければと思いますけど、いかがでしょうか。
A 委員	多分ここは私が書いたところを使っていたんじゃないかと思うんですが、すみません、もう一度どこの部分と仰いましたでしょうか。
事務局	個別的事項（１）大気質のところ、２行目に「残土の輸送にあたっては、乾燥等により土砂等が飛散しないように適切な処置を検討すること」とあるのですが、この「乾燥等により土砂等が飛散」は、車が動くことによってタイヤから出る土砂のイメージなのか、土砂というより何となく粉じん系になるのかな、どちらなのかなと思ひまして。すみませんが、もしご意見いただければ幸いです。

A 委員	<p>私が思ったのは、タイヤというよりは積んであるものが時期にもよりますけど、夏とか運んでる過程で何時間かかるのか分かりませんが、何もカバーとかせず運んでいけば乾燥してきて、飛び散るものが出てくる可能性があるかなということで、例えばフードをかけるとかというような対策を十分にしたうえで、目的地まで到達するようにという趣旨で書きました。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。残土を載せた荷物のほうのご意見だったわけですね。委員が言われるようにフード等のカバーをするような対策を一つの例としては、というイメージのご意見だったということですね。分かりました、ありがとうございます。</p>
A 委員	<p>タイヤはその時には頭になかったんですけど、先ほどおっしゃったのは、排気ガスという意味ですか。</p>
事務局	<p>排気ガスというより、よく相談があるのは、トラックが工事などの現場で周辺の方から、トラックの往復移動によって砂埃が結構舞うというようなお話とかがあったりするので、そういうものをこちらはイメージしてたら、もしかしたら文章が合わないなと思いながら作成していたので、今 A 委員がおっしゃるように残土の荷物が落ちない、飛散しないようにという意味の趣旨であれば、この文章で間違いないと思いました。</p>
A 委員	<p>「乾燥等」の「等」を入れたのは、道がデコボコで揺れて、上で飛び跳ねて、載ってたものが横にコロッとこぼれるというようなこともないよという意味で「等」を入れました。</p>
事務局	<p>非常によく分かりました。</p>
荒井会長	<p>他になにかございませんか。</p>
B 委員	<p>今の追加でございますが、A 委員のこの趣旨は専門用語で言えば、降下ばいじんのことを意味しているかと思しますので、この</p>

	ままでの表現で良いのではないかと思います。
事務局	ありがとうございます。
荒井会長	次の方発言をお願いします。
C 委員	細かいところで恐縮ですが、個別的事項の最後ですね、(4)の ところの2行目、「地域の関係者や愛好家等へのヒアリング」と 書いてあるんですけども、多少前後のものがあれば分かると思 いますけど、答申に書く文章としてちょっと、「地域の関係者」と いうのがまず何を指すのか分かりにくいところもありますし、 「愛好家」というのも、愛好家って自己申告すればなんでも愛好 家になるようなところもありますし、そういう言葉をこういった 文章への選び方としてここら辺の表現を、言わんとするところは 分かるんですけど、もう少し具体的な文言を用いた方がいいんじ ゃないかなと思った次第です。
荒井会長	ありがとうございます。「地域の関係者や愛好家等へのヒアリン グ」について、事務局いかがですか。
事務局	ありがとうございます。確かにご意見のとおり、地域の関係者と 急に出てくると分からない部分もあるかもしれないです。答申に おいて突然すぎる印象があるので、少しここを明確にするような 表現を考えていきたいと思います。愛好家についても、事業者が 作られている方法書も含めて、もしくは過去の様々な答申、ほか の自治体の答申等も参考にさせていただいて、この地域の関係者 や愛好家等へのヒアリングの部分について、ヒアリングは何かし らの方にヒアリングをする話になると思うのですが、ここの部分 の表現を少し改めさせていただいて対応していきたいと思いま す。ご意見ありがとうございます。なお、この場でもし良い意見 があるなら、それをすぐ採用というわけではないので、忌憚のな いご意見をいただければ幸いです。
荒井会長	いかがでしょうか。なにかいいアイデアはありませんか。

B 委員	<p>「ヒアリング等」が手段を指しているのであれば、このような文言が必要だと思うんですけども、目的、リスクコミュニケーション等の、地域の方や愛好家の方へリスクコミュニケーションを目的としたという、最後の目的であれば、全般のところ述べている「コミュニケーションを十分に」のところには包括されていきますので、趣旨によってこれは残しておいた方がいい、あるいは包括されているから削ってしまってもいいという二つの考え方ができるかと思います。</p>
荒井会長	<p>ありがとうございます。全体を通して、リスクコミュニケーションが必要だということが趣旨であれば、あえてここで書かなくてもいいかなというようなことだと思うんですけどいかがですか。</p>
D 委員	<p>ここは私がコメントしたところです。リスクコミュニケーションという趣旨ではなかったです。白滝山について、事業者の方法書では現在の利用状況を調査すると書いていたんだけど、現在利用が少ないからといって、その結果で影響が少ないと評価されてしまっは困るというものです。白滝山は、従前は愛好家の方ですかね、保全会の方とかも活動されていたので、そういった方のヒアリングをして、本来であればもっと利用が見込まれるんじゃないか、どういうところを登山の方、沢登りの方が楽しんでいるのかということを含めてということでしたので、リスクコミュニケーションとはちょっと違います。あくまでこの項目、リスクコミュニケーションも大事なんですけれども、既存の発電機があったことで、白滝山の利用が減少していった、現在の利用状況の調査だけではリプレースなんて測れないと考えられます。そこを従前の利用状況とか、既存風車がない場合の利用状況とか想定するという趣旨ですので、そのようなことが分かる形で書いていただけるといいかと思います。リスクコミュニケーションと一緒にするのはちょっと違うのかなと思いました。ただ、ちょっと今いい表現が浮かびません。</p>
荒井会長	<p>ありがとうございます。必ずしも今回の事業だけの話ではないと</p>

事務局	<p>いうところがありますよね。</p> <p>説明ありがとうございます。今委員が言われたように、前段の部分で既にある発電機の影響を受けているという部分の前置きをさせていただいてる上で、実際この白滝山の状況を把握されてる方という趣旨で発言いただいたと思いますので、ここら辺はまた、再度詰めさせていただいて表現方法を工夫して対応していきたいと思います。ありがとうございます。</p>
荒井会長	<p>他はいかがでしょうか。今のような観点で見るとまだあるかもしれませんが、もう一度よく見ていただければと思うんですけどいかがでしょうか。今回は既設の発電所があって、そのあとに作るだけけれども、1つは事業者が変わってくるということと、前回作った時には今のような法制度がなかった時に作ってるという、ちょっと複雑な事情がある話なんですけれども、逆に言うので、これからそういうことがいろんなところで出てくる可能性がある、ある意味前例になる可能性があるんじゃないかという気がします。また、今度30年後なのか分からないですけど、私たちの子供、孫の世代で同じようなことがある可能性がある、その時の前例になる事例になるかもしれないので、そういうことを考慮して書いた方がいいのかなという気はしましたがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今いただいたそれぞれの件につきましては、こちらの方で文言を修正し、大幅なものは大丈夫というか、項目を変えないといけないという項目はなかったと思うんですけど、各項目の中での文言については、事務局が責任を持って対応させていただいて、荒井会長に先に確認させていただくと同時に、それぞれの審議会等で発言された委員にも趣旨を改めて確認させてもらった上で対応したいと思っております。</p>
荒井会長	<p>ぜひそうしてください。たぶん第1回目の審議会の時にご説明あったと思うのですが、この審議会ですけれども、この審議会ですけれども、市長に答申するわけですが、市長がそれを今度は知事に対して意見を具申するという</p>

	<p>そういう過程になりますので、ある程度かなり網羅的に市長への答申にこう入れ込んだ方がいいのかなと思っているのですが、そういう意味でもかなり個別的、具体的な話も中に書いてもいいかなと思いますということで、これを市長が受けて、市長が事業をするわけではないので、さらに県の方に上がっていくということですので、そういうことを踏まえて修正していただけたところは修正すると、いま議論にあったような細かな点についてはきちっと書き込んだ方がいいかなという気はします。ということで、時間的な問題もありますので、修正後の内容の確認につきましては、今ご意見をいただいた委員の方への確認をさせていただいた上で、取りまとめるという方向で進めたいということによるのでしょうか。</p>
E 委員	<p>細かいんですけど、個別的事項（3）水質のイなんですけど、2行目一番下の所で「人と自然との触れ合いの活動の場である豊北峡」なんですけど、この豊北峡しかないんですか。他にないかなと思って。もしあったらこれ豊北峡に限定しているので、もっと違う表現か、他のものがあれば入れておいた方がいいのかなというふうに思います。</p>
荒井会長	<p>ありがとうございます。私ちょっと土地勘がないので分からないんですけど、事務局どうぞ。</p>
事務局	<p>今画面に表示している、地図の黒いところが風車の計画の部分で、青いところが今回の事業者が実施しようとしている水質を測定する場所ということになります。説明においては、風車はそれぞれ山の上の方に設置するんですけど、そこから下りてきた支流の先、集まった先でそれぞれやっていきますよという説明のなかで、ここに豊北峡というのがありまして、ここの部分については人と自然の触れ合いの場というところでもありますし、ご意見いただいたものなので、ここを固有名詞をしっかりと出ささせていただいた上で作成させていただいたものになります。他の所は観光資源じゃないという趣旨で記載しているわけではないですけども、より分かりやすいものということで書いたものにはなってお</p>

F 委員	<p>ります。</p> <p>豊北峡という形で限定されると、豊北町の方なら分かるんですけど、ここはやっぱりそれに付随した、下流域のほうが、やっぱり川という方がいいと思います。</p>
荒井会長	<p>ありがとうございます。私も土地勘がないので、豊北峡というあの辺り全体かなと思ったんですけど、今見ると本当に一部分ですよ。ですから、あの周辺全体の環境を守らないといけないという意味では今ご提案があった表現の方がいいのかなと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今回作成した答申案は、審議会で委員の皆様から出たご意見になりますので、委員の方からの意見で確か豊北峡と書かれていたものを使わせていただいています。今仰るようにより特定するとどうかなという部分がありますので、ここは発言の委員の方と確認させていただいた上で、より限定せずに「人と自然との触れ合いの活動の場があるときは注意した方がいいよ」というような表現に変えさせていただくかもしれないですが、発言の委員さんと確認させていただいた上で、あまり個別のものに限定されないように対応していきたいと思います。</p>
D 委員	<p>ここは私が書かせていただいたので少しコメントを。今回の趣旨が、水質で問題になっている、課題になっている地点が主に下流域ないし海に注ぎ込む地点の水質の確保ということが重要な課題の一つになっています。現在の調査方法では、それを加味してそこに流れ込む地点で調査をしてるんだけど、それでは不十分ではないのかというのが本件意見になります。豊北峡という地名を書くか、あるいはもう一つ書こうかと思ったんですけど、他のものは長門市の方にも関わってくるので、豊北峡という形で書いたところ。もし、誤解を与えるのであれば、下流域等を含めたことについて言及されるということも大事なことだと思うのです。委員意見としては出なかったけれども一般の方から意見が出てきて、それに対して事業者見解が述べられていたものが</p>

	<p>あったと思うのですね。そういったことも踏まえて、全般的な水質について追加で書くということもいいのかなと思いました。もしかすると、それに関連して会長の方からもうちょっと全般的に広いほうがいいという意見があったのですが、風況とかについても、騒音問題ですかね、あそこ実はちょっと落ちているというか、委員意見で書いているので、事業者見解で述べられている事項を盛り込んではいないですよ。それを盛り込むと結構大部になるので盛り込まれなかったと思うのですが、そこについては会長の方で適宜判断の上で盛り込まないといけない、落とさないといけないということは、事務局と会長で合わせながらやっていただければいいかなと思いました。私からは、上流域ということも含めるし下流域も大事だよということを入れてもいいのかなと思いました。両方あるんだよというのが分かる形で入れていただければいいかなと思いました。</p>
<p>荒井会長</p>	<p>ありがとうございます。先ほど申し上げましたけど、市長がこれを受け取って、またこれを基に市長意見を作成という工程ですので、なるべく幅広く書いておいた方が、市長のご判断でまた県知事にご意見されるということになっていきますので、いろいろと想定されることについては、幅広く審議会としては市長にお答えする方がいいのかなと私は思いますので、今仰ったような形で上流も下流もというような表現がいいのかなという気がします。他にご意見はよろしいでしょうか。なければ来週の答申に向けて、事務局それからご意見いただいた委員の方々との調整しながら、最終的な答申を作りたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>